

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	なると環境プラン推進計画策定事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	環境基本法、鳴門市環境基本条例、 鳴門市自治基本条例、なると環境プラン2004	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 28年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると		終期	~平成28年度
(小項目)		自然環境			
施策	1	自然環境の保全と生活環境づくり			
基本事業	1	全員参加による環境づくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民・市職員・団体・企業等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	なると環境プラン2004の理念を基に、社会情勢や市民ニーズを反映しながら、本市における「望ましい環境像」や「実現すべき環境づくりの方向性」を明示した「なると環境プラン推進計画2017」を策定する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	平成29から33年度までの5年間計画「なると環境プラン推進計画2017」を策定する。 ①1500人アンケートの実施   ②環境ワークショップ開催 ③5年間の取り組み施策及び重点実施事業の検討   ④環境審議会の開催 ⑤「なると環境プラン推進計画2017」冊子作成						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		「なると環境プラン推進計画2017」を策定する		100	/	/	/	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市民1500人を抽出して「環境づくりに関する意識調査」をアンケートを実施し、環境ワークショップを2回開催した。また庁内関係課長で構成する「庁内環境会議」の開催や、市民でつくる「なると環境づくり推進市民会議」の開催により、市民と連携・促進を図りながら様々な施策を検証し、平成33年度までの5年間で取り組む「なると環境プラン推進計画2017」を策定した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	なると環境づくり推進市民会議と庁内環境会議の開催	2	3	/	/	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標		「なると環境プラン推進計画2017」を策定する		100	-	-	%
		目標達成率(実績/目標)	/	100.0	-	-	%
今年度の進捗状況	完了		事業全体の進捗状況		-		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	980	980
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	980	980
		決算額	0	0	0	0	901	901
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		0.5	0.0		3,567		4,468	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:なると環境プラン推進計画策定事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費		901			
	うち一般財源		901			
	人件費		3,567			
	総事業費	0	4,468			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		1500人に対するアンケートにより市民の環境問題に対する意識の把握が出来た。
	効率性	B:概ね効率的だった		ワークショップ等の開催により市民の意識向上に対する効率化を図った。
②成果に対する評価	指標名	「なると環境プラン推進計画2017」を策定する		1500人アンケートの実施と環境ワークショップを開催することで、市民に意見を取り入れながらH33年度までの取り組み施策及び重点実施事業を明記した「なると環境プラン推進計画2017」を策定し、冊子完成まで遂行した。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>A</b>		市民の意見を反映した5年間計画「なると環境プラン2017」を策定するができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度				
	H30年度				